

第 3 9 0 回（令和 7 年 1 2 月）三木市議会定例会における

質 問 事 項

質問順 月 日	1	2	3
1 2 月 5 日	川端 敦子	泉 雄太	又吉 健二
1 2 月 9 日	内藤 博史	板東 聖悟	おぎはら 吉江

発 言 通 告 書

令和 7 年 11 月 27 日

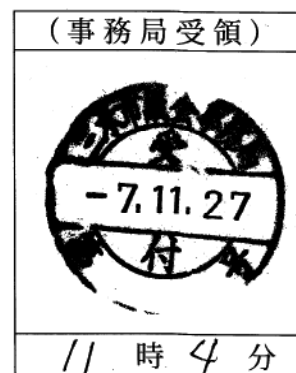
三木市議会議長 様

三木市議会議員

氏 名 川端 敦子

会 派 名 志誠会

議席番号 25



次の事項について発言したいので、会議規則第 50 条第 1 項及び第 2 項並びに第 61 条第 2 項の規定により、通告します。

記

1 質疑

	議案番号	議案名(あれば事業名も)	質 疑 の 内 容	答 弁 者
1	第 70 号議案	三木市多世代交流施設 条例の制定について	① 条例制定の目的及び役割 について	総合政策部長
			② 団地再生事業の核となる 多世代交流施設における 行政、民間事業者、市民、 それぞれの関わりについて	〃
			③ もっと地域の方に知って いただくための、今後の 取り組みについて	〃
2	第 74 号議案	三木市火災予防条例の 一部を改正する条例の 制定について	① 具体的な発令基準につい て	消防長
			② 火気使用の制限地域の設 定方法と市民への通知方 法について	〃
			③ 注意報、警報の対象期間 を 1 月～5 月とした理由 について	〃
			④ 令和 8 年 1 月 1 日からの 施行に向けた市民への周 知について	〃

2 一般質問 別紙のとおり

質問番号	1		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
団地再生事業における住民の参加と情報共有のあり方について	① 団地再生事業の全体像と短期、中期、長期のスケジュールについて	総合政策部長	
	② 当初予定より竣工が遅れている理由と今後の工程への影響について	〃	
	③ 団地再生事業における「みらまち緑が丘・青山推進機構」の役割と、これまでの取り組み状況・実績について	〃	
	④ 地域住民、自治会、まち協、「みらまち」との共同体制の今後のあり方について	〃	

質問番号	2		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
障がい者とその家族への支援体制の強化について	① 障がいのある方を支える家族への支援の現状について	健康福祉部長	
	② 本市の自立支援協議会は、どのようにして家族の声を収集して施策に反映しているのかについて	〃	
	③ 学習会や家族教室などの研修会・講演会の開催や家族支援に関する広報について	〃	

質問番号	3		
質問番号		質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
SNS 誹謗中傷の防止について	①	市内における SNS 誹謗中傷に関する相談状況について	市民生活部長
	②	市として把握している課題と現在の取り組みについて	〃
	③	SNS 誹謗中傷を防止するための今後の取組について	〃

質問番号	4		
質問番号		質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
身寄りのない方の死後事務支援体制の構築について	①	身寄りのない方が亡くなった際の死後手続きについて	健康福祉部長
	②	身寄りのない高齢者の死後事務委任契約について、どのように認識しており、市民からの相談はあるのかについて	〃

発言通告書

令和7年11月27日

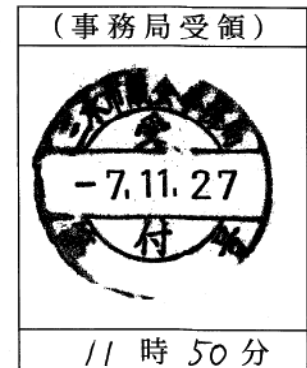
三木市議会議長 様

三木市議会議員

氏 名 泉 雄太

会 派 名 公政会

議席番号 28番



次の事項について発言したいので、会議規則第50条第1項及び第2項並びに第61条第2項の規定により、通告します。

記

1 質疑

	議案番号	大項目	小項目	答弁者
1	第70号議案	三木市多世代交流施設 条例の制定について	①これまでの経緯	総合政策部長
			②施設の内容と施設使用料 の決め方	〃
			③目指す方向性	〃

2 一般質問 別紙のとおり

質問番号	1	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答弁者
国の総合経済対策への対応について	①国の総合経済対策について、三木市に影響する内容と活用方針について	総務部長
	②重点支援地方交付金の三木市の割当額と使途について	〃

質問番号	2	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答弁者
地域の小児科医療体制について	①地域の小児科医院では医師の高齢化等により閉院、科目閉鎖の病院が増えているが、市の現状認識について	健康福祉部長
	②病児・病後児保育の存続について	〃
	③既存の乳幼児健診、新たな国基準による5歳児発達健診の実施への影響について	〃
	④地域の小児科医を確保するための今後の市の対策について	〃
	⑤子ども医療費無償化対象となるオンライン診療で処方箋を出せる環境整備について	〃

質問番号	3	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答弁者
市街化調整区域の土地利用について	①北播磨では、加西市が来年4月から、加東市と西脇市では令和10年度からの区域区分の廃止を目指しているが、三木市の考えについて	都市整備部長
	②三木市の市街化調整区域の土地利用基本計画の見直しの進捗状況について	〃
	③特別指定区域で事業系の区域を指定する地域では、容積率を200%に緩和する事について	〃

質問番号	4	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答弁者
下水道料金の見直しについて	①三木市下水道経営戦略によると、料金改定を行わない場合、令和16年度末の資金残高7.66億円になる一方で、15%の料金改定を行うと令和16年度末の資金残高は20.62億円に増えると試算されている。10%の料金改定を行った場合の財政計画の試算ではどうなるのか。また、その場合、標準家庭の使用料金はどうなるのかについて。	合田副市長
	②10%でも収支が成り立つと思われるが、15%にした理由を問う。	〃

質問番号	5		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
小中学校のプール施設について	①小中学校全校で水泳授業を民間委託した市では、子ども達はレベルに応じた専門的な指導で泳力が向上し、教員はプールの維持管理の負担が減少し、今後の維持管理費と比較して民間委託の経費は半分以下になる等大きなメリットがあったが、水泳授業の民間委託への考えについて	教育振興部長	
	②三木市内外の公立・民間のプール施設数と、授業利用の実施可否や移動時間等の調査実施について	〃	
	③夏休みのプール開放がほとんど無くなり、既存の部活動が地域クラブ展開で無くなる中で、今後の学校プール施設の在り方について	〃	

質問番号	6		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
エビデンスに基づいた教育政策の実施について	①教育経済学という学術分野では、子どもの頃の教育が大人になってからの就職、収入等に与える影響を分析している。市は教育大綱「夢を育み、未来を創る 三木の教育」の実現のため、研究結果やエビデンスに基づき効果のある施策を行なっていく事への見解を問う。	教育振興部長	
	②学生時代にスポーツをする事、リーダーになる経験が将来の年収を上げるという研究があり、これらの経験が非認知能力を高めるのがその理由と考えられている。非認知能力を高めるための現状の取組について。	〃	
	③幼児教育の質が高ければ、就学後の学力が高くなるという研究がある。「保育環境評価スケール」を活用した評価とその後の1時間程度のフィードバックにより、幼児教育の質を見える化し、改善していくことについて。	〃	

	④早生まれの子について、非認知能力の格差がその後も縮小しづらいという研究がある。現状の早生まれの子どもへの配慮について。	教育振興部長
	⑤地域クラブ展開により、現状の部活動と比較して参加しづらくなることで、スポーツや文化活動を通じたリーダーシップの育成の機会が減少することへの懸念の対処はどのように考えるかについて	〃
	⑥非認知能力の向上のため、学習状況調査の生徒質問紙の結果を基にした目標設定と改善に向けた取組について	〃
	⑦年々教えないといけない事が増える学校現場において、やらない事を意図的に増やしていく努力について	〃

発 言 通 告 書

令和 7 年 11 月 27 日


三木市議会議長 様

三木市議会議員

氏 名 又吉 健二

会 派 名 市民クラブ

議席番号 16

(事務局受領)

8 時 30 分

次の事項について発言したいので、会議規則第 50 条第 1 項及び第 2 項並びに第 61 条第 2 項の規定により、通告します。

記

1 質疑

	議案番号	議案名(あれば事業名も)	質 疑 の 内 容	答 弁 者
1	第 70 号議案	三木市多世代交流施設 条例の制定について 別表(7 条関係)	①施設管理条例を定める基本 コンセプト及び各施設の使用 目的、単位(時間)、運営時間 と金額について	総合政策部長
2	第 82 号議案	令和 7 年度 三木市一般会計 補正予算(第 4 号)		
		多世代交流施設の指定 管理料について	①10 年間 5 億 3,600 万円、 債務負担行為の積算根拠について	総合政策部長
			②開設時期延期による施設 管理準備委託費 4,400 万円 について	〃
		寄附金を活用した人権 啓発看板等の更新について	①人権施策推進を目的として 寄附をされた自由同和会について	市民生活部長
			②人権啓発看板等の更新における 人権標語の内容について	〃
			③人権啓発看板等の完成時期 について	〃

— [3] 枚のうち [1] 枚目 —

2 一般質問 別紙のとおり

質問番号	1		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
三木市多世代交流施設について	①放課後等デイサービス断念について	総合政策部長	
	②災害から市民の命を守る防災機能について	〃	
	③施設運営による雇用の創出について	〃	
	④指定管理者と一般社団法人みらまち緑が丘・青山推進機構（団地再生に資する地域再生推進法人）の関係性について	〃	

質問番号	2		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
地域ふれあいバスの運営について	①運営の最優先課題であるボランティアの高齢化に伴う人材確保について	都市整備部長	
	②運行開始から約10年が経過、車両の更新について	〃	
	③細川ふれあいバス、ニコニコふれあいバス（自由が丘）の乗車人数を増やすためのルート変更について	〃	

質問番号	3		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
学校施設管理と小中一貫校を含む学校運営について	①三木市立学校園施設長寿命化計画（H31.3月策定）について	教育総務部長	
	②校舎外壁の剥落、フェンス腐食等、学校施設における緊急対応について	〃	
	③プールの老朽化と改修費用、猛暑による熱中症対策、塩素濃度など適切な水質管理等、教員の負担を踏まえた水泳の授業の在り方について	教育総務部長 教育振興部長	
	④小中一貫校の将来像について	教育振興部長	

発 言 通 告 書

令和 7 年 11 月 27 日

三木市議会議長 様

三木市議会議員

氏 名 内藤 博史

会 派 名 公明党

議席番号 19

(事務局受領)



12 時 10 分

次の事項について発言したいので、会議規則第50条第1項及び第2項並びに第61条第2項の規定により、通告します。

記

1 質疑

	議案番号	議案名(あれば事業名も)	質 疑 の 内 容	答 弁 者
1	第70号議案	三木市多世代交流施設 条例の制定について	1. 第4条に定める具体的な 事業の計画や内容について	総合政策部長
			2. 第7条の使用料について 別表に掲げている金額の根 拠とその他施設の場所につ いて	〃
2	第82号議案	令和7年度三木市一般 会計補正予算(第4号) について	1. 特別支援学校通学対策事 業について	
			① 事業の概要について	教育総務部長
			② 債務負担行為 5500 万円 の算出根拠について	〃
			③ 実施までのスケジュール について	〃
			④ スクールバス駐車スペ ースの確保や安全性につい て	〃
			2. 中央公民館等複合施設整 備事業について	教育総務部長
			① 事業者選定発注支援業務 委託料追加の詳細	〃
			② 審査や選定及び基本協定 の締結に影響はないのか	〃

質問番号	1	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
財政施策について	1. 令和8年度の予算方針について	総務部長
	2. 国の重点支援地方交付金の推奨事業メニューについての活用の方針、事業の選定、実施プロセス、スケジュールについて	〃
	3. 企業版ふるさと納税の今後の戦略について	総合政策部長
	4. 地域資源である「ゴルフのまち」ならではの優位性を活かした新しい産業の創出による財源の確保について	産業振興部長

質問番号	2	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
DX 推進について	1. 「みっきい☆健康アプリ」で貯まったポイントを学校への寄附にも使えるよう、システムの設定や運用を変更することについて	総合政策部長
	2. 学校の授業で ICT を活用した外国人講師によるオンライン英会話を導入することについて	教育振興部長
	3. 「地方創生伴走支援制度」の活用により DX を推進する取り組みについて	総合政策部長

質問番号	3	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
成年後見制度の取 組みについて	1. 成年後見制度の直近の利用状況について	健康福祉部長
	2. 市民後見人が関与している人数や課題について	〃
	3. 市民後見人の育成や活用促進の取り組みについて	〃
	4. 成年後見人等送付先住所一括登録制度について	〃

質問番号	4	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
防災・減災対策に ついて	1. 住宅用火災警報器設置促進について	
	① 設置状況について	消防長
	② 設置促進や維持管理の啓発について	〃
	2. 感震ブレーカーの設置促進について	消防長
	① 周知・啓発の取り組みについて	〃
	② 設置・購入の補助金制度の導入について	〃

質問番号	5	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
部活動の地域展開について	1. 直近の「みきティブ」認定クラブ数と生徒の登録状況について	教育総務部長
	2. 人材バンク登録状況について	〃
	3. 段階的な縮小における部活動が終了する基準について	教育振興部長
	4. 「みきティブ」の活動がない日の生徒の過ごし方や放課後の学習・居場所に関する考え方について	〃

質問番号	6	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
自転車の交通安全対策について	1. 2026 年 4 月から自転車の交通違反に対する交通反則通告制度(青切符)が導入されることによる市の対応について	
	① 導入の背景や制度の概要、主な違反と反則金について	市民生活部長
	② 制度の市民への周知・啓発活動について	〃
	③ 青切符の対象は 16 歳以上となるが、小・中学校や高校と連携し、制度導入を見据えた自転車の安全教育の強化をどのように進めていくのか	〃
	④ 警察との連携について	〃

発 言 通 告 書

令和7年11月27日

三木市議会議長 様

三木市議会議員

氏 名 板東 聖悟

会 派 名 日本共産党

議席番号 12番

(事務局受領)



19 時 25 分

次の事項について発言したいので、会議規則第50条第1項及び第2項並びに第61条第2項の規定により、通告します。

記

1 質疑

	議案番号	議案名(あれば事業名も)	質疑の内容	答弁者
1	第70号 議案	三木市多世代交流施設条例の制定について	① 別表「有料施設及び使用料」に掲げる施設の内容と使用料の根拠 ② テナントや貸事務所の入居事業者の選定方法 ③ スマート行政窓口の役割 ④ 放課後等デイサービスが総量規制により断念されたが今後の活用	総合政策部長
2	第82号 議案	三木市一般会計補正予算(第4号)		
		(1) 青山7丁目団地再耕プロジェクト事業	施設管理委託料700万円の減額理由	総合政策部長
		(2) 債務負担行為 多世代交流施設の指定管理料	限度額5億3600万円の根拠	〃

	議案番号	議案名(あれば事業名も)	質 疑 の 内 容	答 弁 者
	第 82 号 議案	(3) 債務負担行為 神戸電鉄粟生線増 便運行事業	① 限度額 3 4 0 0 万円 の根拠 ② 令和 6 年～7 年と令 和 8 年～9 年を比べ て 2 0 0 万円減額の 理由 ③ 増便 3 駅とそれ以外 の駅の昼間時間帯の 利用状況 ④ 増便 3 駅の昼間以外 の利用状況	都市整備部長

2 一般質問 別紙のとおり

2 一般質問

質問番号	1	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
将来的な大村駅の活用について	① 現在の大村駅の利用状況とその推移	都市整備部長
	② 乗降者の利用目的の把握	〃
	③ 大村駅付近の今後の開発予定	〃
	④ 大村駅を将来的に現在より東側の商業施設の多い所に移設することで、駅の利用者の増加と、地域の活性化に繋がると思うが、市はどのように考えるか？	市長

質問番号	2	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
物価高騰対策について	① 小学校の給食費無償化と中学校の給食費の負担軽減について	教育総務部長
	② 生活保護受給者や低所得者へのエアコン購入の助成と灯油補助について	健康福祉部長
	③ 介護・障がい福祉サービス事業所に対して物価高騰対策のための助成について	〃
	④ 物価高騰に伴う市内事業者への影響調査について	産業振興部長
	⑤ 中小企業・小規模事業者等への賃上げ支援	〃

質問番号	3		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
スクール・セクシュアル・ハラスメント（スクール・セクハラ）について	① 教育委員会のスクール・セクシュアル・ハラスメントの問題の捉え方	教育振興部長	
	② 市内で問題になった件数	〃	
	③ 問題が発生した場合の対応	〃	
	④ 問題が発生しない為の対応	〃	
	⑤ 自分を守る性教育について	〃	

質問番号			
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	

発言通告書

令和7年11月27日

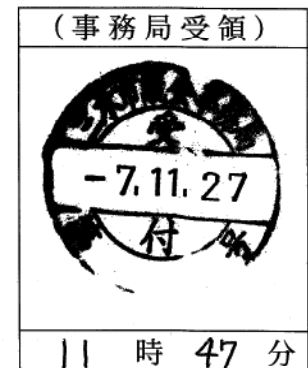
三木市議会議長 様

三木市議会議員

氏 名 おぎはら吉江

会 派 名 日本維新の会

議席番号 27



次の事項について発言したいので、会議規則第50条第1項及び第2項並びに第61条第2項の規定により、通告します。

記

1 質疑

議案番号	議案名(あれば事業名も)	質疑の内容	答弁者

2 一般質問 別紙のとおり

質問番号	1		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
子どもの安心・安全を守る体制の強化について	1. 全国で教員による不適切事案が発生したことを受け、子どもが安心できる学校づくりに向けた取組強化について		
	(1) 文部科学省からの通知への対応について	教育振興部長	
	(2) 学校から保護者への発信について	〃	
	(3) 教員のデジタル端末の取扱いについて	〃	
	2. 日本版 DBS 制度への対応について		
	(1) 日本版 DBS に関する制度内容と対応について	教育振興部長	
	(2) 現在の対策について	〃	
	(3) アフタースクール、地域クラブ団体等への対応について	〃	

質問番号	2		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者	
ふるさと納税の仕組みを活用した学校支援について	教育予算の確保は未来を担う子どもたちのために、非常に重要な課題であり、限られた予算の中で、いかに効果的に支援を行うかが問われています。		
	1. ふるさと納税の使途に「子育て教育支援」の項目が設けられているが、どのくらいの寄附が教育支援分野に充てられているのか	総務部長	
	2. 学校現場の課題は多岐に渡るが予算確保の考え方について	教育総務部長	
	3. 学校の個別課題を明確にしたガバメントクラウドファンディング（GCF）の活用について	〃	
	4. ふるさと納税寄附の使い道の見える化について	総務部長	

質問番号	3	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答弁者
障がい児・障がい者の就労支援体制について	障がい児・障がい者が地域で安心して暮らし、働き続けられる環境を整えていくことは、市として重要な役割であると考えます。	
	1. 障がい児や障がい者の一般就労・就労継続支援・就労移行に対する取組について	健康福祉部長
	2. 就労選択支援の状況と課題について	〃

質問番号	4	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答弁者
誰ひとり取り残さない防災体制について	阪神・淡路大震災から 30 年を迎えました。今後起こり得る災害に対し、震災当時の気づきを踏まえつつ要配慮者に対応した防災体制を進める取組が必要だと考えます。	
	1. ゴルフ場との災害時支援協力体制について	総合政策部長
	2. 既存の備蓄品に加え、新たな乳児用備蓄品や備蓄食品を導入することについて	〃

質問番号	5	
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者
学校教材備品の保護者負担軽減について	全国では、保護者負担軽減のため、個人購入している一部学校教材を学校備品として整備する取組が広がっています。また、厚労省通知においても、保護者負担軽減のため、個人購入している一部学校教材を学校備品として整備する取組が示されています。	
	1. 個人購入している学校教材の一部備品化への課題について	教育振興部長
	2. 保護者負担軽減に向けて学校備品化を進める市の考え方について	〃

質問番号		
質問事項	質問の要旨（詳しく記入）	答 弁 者